

13 いわて生協の環境方針

いわて生協 環境活動報告書

2007年版

(2006年4月度～2007年3月度の活動報告)

環境理念

いわて生協は、地球の未来に責任をもつための行動を積極的にすすめ、生産・流通・消費・廃棄までの全過程にわたって、環境負荷低減と省エネルギー、省資源、リサイクルなどの環境保全型の社会づくりを目指します。

そうした中で、私たち一人ひとりが人間として、地球市民として、ライフスタイルを見直し、組合員と一緒に「持続可能な社会を実現する」ために率先して取り組むとともに、環境保全型社会システムづくりへの積極的な提言などもおこない、社会に貢献できるようにします。

環境方針

いわて生協は、食料品、家庭用品、衣料品、灯油等の商品を組合員に供給する事業と共済、葬祭、介護福祉等の事業を行っています。

(1) こうした活動、商品、サービスによる環境影響の大きな項目については、目的・目標を設定し、定期的に見直すとともに、環境負荷の軽減と汚染防止、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

(2) 環境関連の法律・規制・条例・その他受入れを決めた要求事項を遵守するとともに自主基準を制定し管理を進めます。

いわて生協は環境理念の実現をめざして次の活動を進めます。

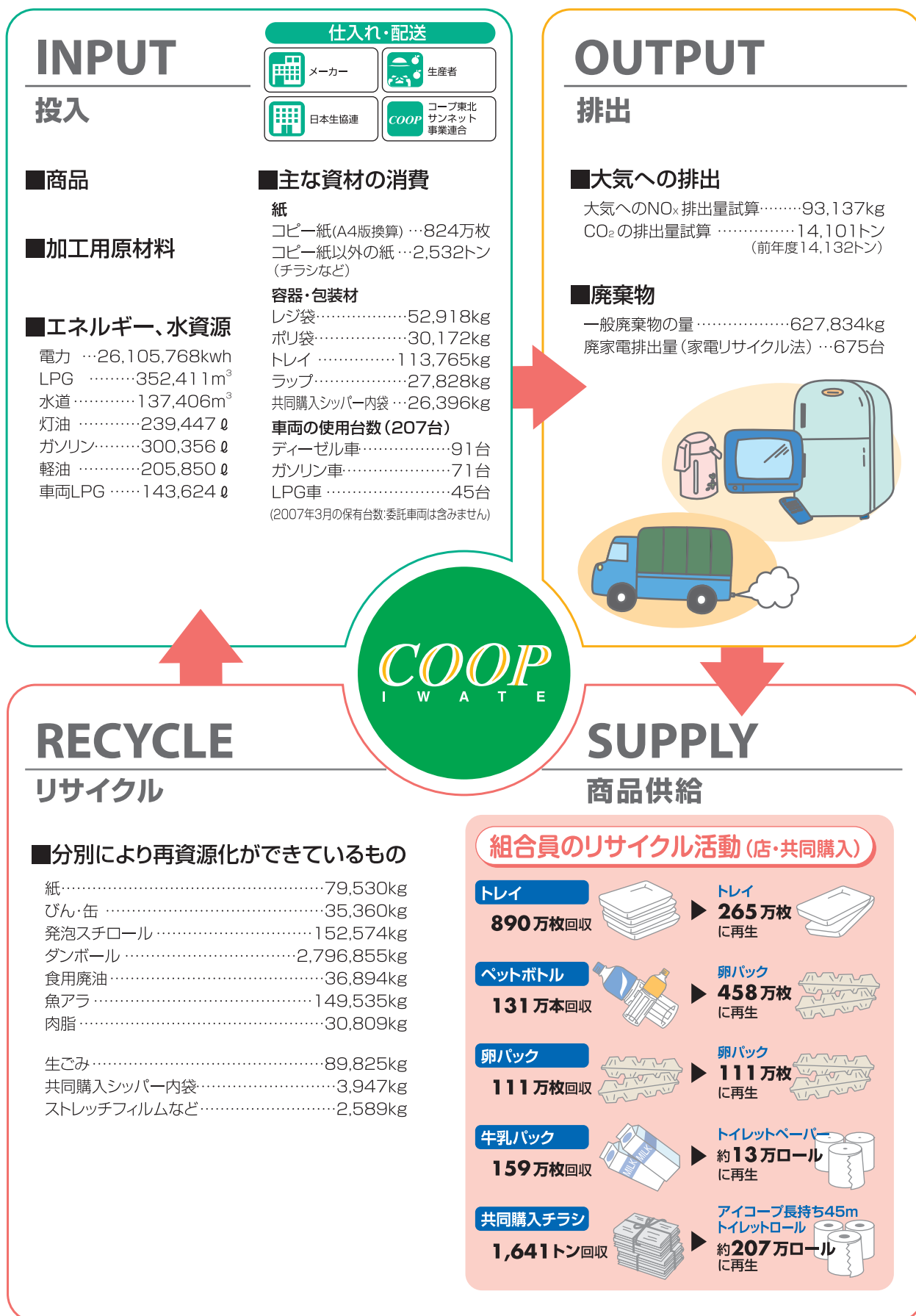
- ① 環境に配慮したリサイクル商品などの環境商品、遺伝子組換え原料を排除した商品の拡大とその普及に努めます。
- ② 地産地消を重視し、環境負荷の少ない国産、県内産の生産物の普及を図り、産直商品の取扱い比率の拡大を進めます。
- ③ 地球温暖化と化石燃料等の枯渇を予防するために、電気使用量の削減、業務用燃料の抑制による省エネルギー、省資源化を図ります。
- ④ 廃棄物処分場不足等の予防のために、「ゼロエミッション(ごみ排出ゼロ)」を目指し、廃棄物の削減及び分別の徹底を図り、再資源化率を向上させるとともに、以下のような具体的な取り組みを推進します。
 - 各事業所で、また個別のプロジェクトにおいて排出ごみの計画的な削減
 - レジ袋の削減
 - 市場物流における通い箱の導入拡大
 - 組合員のリサイクル活動と事業活動でのリサイクルを推進します。
 - 紙類の使用量を抑制、回収、リサイクルを推進します。
- ⑤ 車両排気ガス発生による大気汚染、地球温暖化を予防するために、アイドリングストップ運動に取組み、また環境負荷の少ない車両の導入を図ります。
- ⑥ 「グリーン購入」の割合を高めるため、環境に配慮した物品の調達を推進します。

(3) 定型教育、内部報、事業所ごとの会議等により、常勤者に対する教育・啓発を積極的に行い、環境方針の理解と環境意識の向上を図ります。

(4) この環境方針を内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況について定期的に公表します。

制定日2000年7月20日 最終改定日2007年6月4日 いわて生活協同組合

14 いわて生協の事業活動と環境影響



15 地球温暖化防止のとりくみ

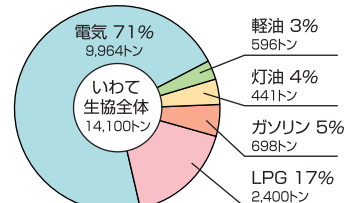
CO₂排出量を前年より若干削減 燃料の減少が貢献

エネルギーの71%を占める電気使用量は、2,626万kwhで前年比102.4%と増加となりました。既存施設〈環境目標の範囲〉での削減やコープ天昌寺の閉店による減少がありましたが、ベルフ山岸の通年営業、セリオホールみたけオープンで増加したためです。

電気使用が増加したものの、灯油、軽油、ガソリン、LPGの燃料が減少し、エネルギー使用によるCO₂排出量が減少しました。

2006年度のいわて生協全体の二酸化炭素(CO₂)排出量は、14,100トン(前年比99.8%)とわずかながら削減できました。

原因別CO₂排出量(2006年度)



CO ₂ 発生源	2005年度(kg)	2006年度(kg)	前年比
電気	9,672,471	9,964,139	103.0%
灯油	639,830	596,223	93.2%
軽油	448,452	441,777	98.5%
ガソリン	868,571	698,076	80.4%
LPG	2,502,509	2,400,480	95.9%
合計	14,131,833	14,100,695	99.8%

太陽光発電 セリオホールみたけに初導入

太陽光発電設備を新設のセリオホールみたけにはじめて設置しました。民間では県内2番目です。新エネルギー財団との共同研究事業で、設置費用の半額(545万円)の補助を受けています。2006年11月から2007年3月までの発電量は3,384kwhで、施設全体の約5%をカバーしています。また、これによるCO₂削減量は661kgとなっています。



太陽光発電パネルが屋上に設置されています。

バイオディーゼル燃料 共同購入トラック6台に使用

盛岡西・盛岡東・花北支部で共同購入トラック6台で使用しました。(6月から11月まで)。廃食油から作るバイオディーゼル燃料(BDF)はCO₂排出量がほぼゼロと算定されるため、温暖化防止対策では有効です。年間BDF使用量は3,371ℓで、この石油節約分でCO₂が8.9トン削減できました。また、燃料代が78,000円節約できました。

外部制御による省電力 2店舗の冷蔵施設で実施

ベルフ仙北・コープアテルイで冷蔵冷凍ショーケースコンプレッサを外部制御する技術(エスコサービス)を導入し、電気使用量を前年以下に抑えました。これによりCO₂を76トン削減したことになります。エスコサービスではコンプレッサを系統別にリアルタイムでモニターしており(右写真はモニター画面)、最大電力量を制御する機能も果たしています。



ショーケースの稼働状況をリアルタイムでモニターしています。

軽自動車への切り替え ガソリン使用量を半減

共同購入事業部では、拡大タスクチームの車両33台すべてを軽自動車に切り替え。ガソリン消費量を前年の約半分の49,000ℓに減らすことができました。この効果でCO₂を年間114トン削減できました。

16 事業での資源節約とリサイクル

レジ袋の節約

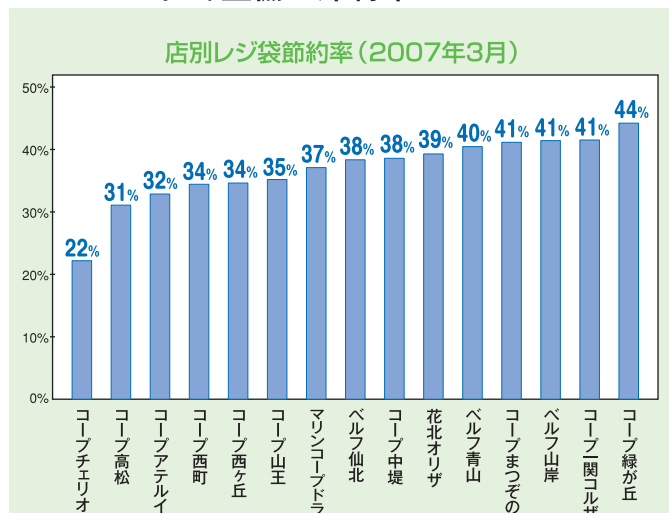
節約率は37.6%に高まりました

組合員と店舗常勤者のとりくみにより店舗全体のレジ袋節約枚数は年間465万枚、節約率は37.6%に高まりました。マイバッグやマイバスケ（レンタルかご）の利用が年々増えており、マイバスケの普及数は22,000個になっています。いわて生協は2008年にレジ袋節約率を50%以上にすることを目標にしています。

レジ袋節約の省エネ効果

レジ袋節約による石油の節約効果は98,000ℓ（18ℓ缶5,477缶）と推計されます。

いわて生協の節約率は37.6%



廃棄物削減とリサイクル

ごみゼロをめざして毎年前進しています。

一般廃棄物は増加、生ごみは減少

いわて生協全体の廃棄物は577トン（前年比104%）と増加しました。事業所の一斉整理整頓活動などによって可燃ごみが増加しました。

店舗の生ごみは193トン（コープアテルイ、花北オリザは生ごみ堆肥化店舗なので除きます）で、前年比97%とわずかながら減少させることができました。

この結果、いわて生協の食品リサイクル率は56.6%となりました。食品リサイクル法の目標である「20%」を大きく上回っています。

食品リサイクル率

56.6%



$$\text{食品リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{リサイクルできている量 (279トン)}}{\text{リサイクル量 (279トン) + 食品系廃棄物 (214トン)}} \times 100$$

事業活動でのリサイクル量は3,378トン

事業活動により排出される資材等をできるだけリサイクルしています。2006年度は紙、ダンボールをはじめ、食用廃油、共同購入シッパ内袋、肉の脂身、魚のアラなどを再資源化しています。2006年度の総量は3,378トンでした。

事業系の分別リサイクル量 (kg)

項目	2005年度	2006年度	前年比
紙	77,400	79,530	130%
びん・缶	53,928	35,360	66%
発泡スチロール	124,628	152,574	122%
ダンボール	2,913,534	2,796,855	96%
食用廃油	38,586	36,894	96%
魚アラ	136,206	149,535	110%
肉脂	31,579	30,809	98%
生ごみ	103,812	89,825	87%
共同購入内袋	4,546	3,947	87%
ストレッチフィルムなど	3,367	2,589	77%
合計 (kg)	3,487,586	3,377,918	97%
(トン)	(3,488トン)	(3,378トン)	

お取引先との環境パートナーシップめざして

いわて生協は2006年度からお取引先企業に環境マネジメントシステムを紹介し、IES（いわて環境スタンダード＝簡易、格安費用のローカル版環境マネジメントシステム）構築を応援する取り組みを始めました。「企業経営と環境」セミナーと構築講座、3回の集合コンサルティングを行いました。現在数社が構築に取り組んでおり、すでに1社が3か月間の運用期間を経てIES認証を取得しました。



「企業経営と環境」セミナー
（2006年7月）

17 環境に配慮した商品の普及のとりくみ

県産品・国産品の普及 フードマイレージの視点で促進しています

フードマイレージは、生産地と消費地が遠くなると輸送エネルギーがより多く必要になるため「食料品は地産地消（生産地と消費地が近いこと）が望ましい」という考え方に基づいています。国際的な食料移動は地球環境に大きな負荷をかけるほか、生産地が消費地から大きな経済的圧迫を受けるといった問題も指摘されています。フードマイレージの数値が大きいほど、その消費地は食料に関してエネルギーを費やしていることになります。日本のフードマイレージは世界1位であり、地球環境に大きな負担をかけています。

2006年度の環境影響評価ではこのフードマイレージの視点を取り入れ、県内産・国産の商品利用を環境面からも推進する取り組みを強めました。

農産部

顔とくらの見える産直品 6.1億円（前年比102% 過去最高）に

いわて生協の「産直三原則」にもとづき、盛岡甘熟会、いわい農産研究会、今松野菜生産組合（岩手町）など、産地と提携して年間6億円の供給高をめざしました。作付け段階から品目拡大、産直産地を増やすなどの取り組みと多くの組合員の利用で年間6億1千万円の供給となりました。これは価格が高騰した2004年度を除くと過去最高の利用高、数量になりました。

水産部

三陸産の海草、加工品の供給を推進

真崎わかめやめかぶ、塩辛、漬け魚、鮭加工品など、三陸産のアイコープ商品や水産加工品の普及を目標に取り組みました。共同購入の企画回数が十分でなかったことや価格競争もあり、年間供給高1億1,529万円と前年比88%にとどまりました。

惣菜部

県産食材を使用した惣菜の供給が7800万円を超えました（前年比108%）

惣菜部門は、アイコープの豚肉、さくら卵、若鶏をはじめ、県産みそや大豆、椎茸などの県産食材を積極的に活用した惣菜の供給を進めています。年間供給実績は7,841万円となり、前年比108%と大きく利用を伸ばすことができました。

日配部

岩手県産大豆を使用した豆腐の供給構成比が2%アップし、56.8%になりました

「岩手県産大豆を使用した豆腐の普及」を目標に掲げ、輸入大豆を使用した豆腐の構成比を引き下げ、逆に県産大豆使用の豆腐の構成比を引き上げる取り組みをすすめました。1年間の継続した取り組みにより、コープの豆腐分類内での県産大豆使用の豆腐の供給構成比を2005年度から2.3%引き上げ、56.8%まで高めました。

グロサリー部

県内で製造したアイコープ商品の供給は6550万円を超え、前年比105%になりました。

開発品のうち岩手県内で製造の商品普及に取り組みました。アイコープ発芽玄米ひとめぼれ、アイコープ超特選県産大豆醤油、アイコープ焼肉のたれ、アイコープつゆ（4倍）、アイコープこしあん・つぶあん、アイコープ県産小麦粉、アイコープ南部切いた麩、アイコープ牛ふんたい肥くんなど26品目を重点的に普及しました。これらの商品供給は6,254万円（前年比105%）となりました。

酒・米部

県内産の産直あきたこまち・ひとめぼれの供給が514トンに

JAきたかみ、JA新しいわて、JA岩手ふるさと、生産者団体と提携した産直米の供給が513.9トンになり、前年比179%の実績となりました。

畜産部

添加物を減らした加工肉の供給が増加しました

アイコープ、日生協加工肉の供給は年間2,452万円（計画比104%、前年比105%）となり、増加しました。アイコープ加工肉4品、日生協加工肉3品計7品で取り組みを進めました。10月度にリニューアル発売した「アイコープポークウインナー」をはじめ、「国産豚肉使用コースハム」「アイコープ若鶏塩からあげ」などが好評でした。

18^{も り}「森林の募金」、各部署の活動から

「森林の募金」 5団体へ10万円ずつ贈呈

組合員が利用した環境配慮商品の1%が、メーカー・生産者のご協力により「森林の募金」となる環境キャンペーン。3年目となった2006年度の募金額は52万円と過去最高になり、11月29日に行われた「産直運動推進大会」の場で、5団体へ10万円ずつ贈呈しました。

第3回「森林の募金」に協賛いただいたお取引先は次のとおりです。

- (株) 純情米いわて ●(有) 佐勇水産 ●宮古水産加工協同組合 ●岩手畜産流通センター ●銀河フーズ株式会社 ●(株) モリレイ ●上山製紙株式会社

※このほか日本生協連商品のお取引先各社、いわて生協が「森林の募金」に協賛・拠出しています。



「森林の募金」これまでの贈呈先(各団体に10万円)

第1回 (2004年)	417,000円 4団体へ	NPO法人ボランティア山仕事くらぶ、カタクリの会、みちのくエコステーション木霊の駅、釜石ホテル友の会
第2回 (2005年)	346,400円 3団体へ	早池峰にゴミは似合わない実行委員会、NPO法人いわて森林再生研究所、葛根田ブナ原生林を守る会
第3回 (2006年)	520,000円 (430,700円+繰越分など) 5団体へ	岩泉「森の日」事業実行委員会、一関地方森林組合青壮年部、日野沢森林愛護少年団育成会、釜石東部漁業・釜石森林組合青年部、NPO法人イーハトーブ里山水棲生物保存会

本部各部 コピー回数を年間40万回削減しました

コピー回数を削減する目標を初めて設定し、本部の各部でとりくみました。各部ではコピー機の代わりに印刷機使用、コピーカードを分けて実態を細かく把握する、資料配布をやめプロジェクタ投影して会議を進める、パソコンから縮小出力をする、などのとりくみが推進されました。この結果、コピー回数は2005年度210万回から2006年度は169万回(前年比80.4%)へ減少し、目標を達成しました。

フィッシュセンター 袋包装で23万点を供給(トレイ不使用)

フィッシュセンターでは、「トレイがもったいない」という組合員の声に応えて、2004年度から共同購入向け商品をトレイから袋包装に替えて供給するとりくみを続けています。2006年度は5アイテムの計画でしたが、実績は9アイテムまで拡大して目標達成しました。

- ①袋化した商品の供給点数23万点→トレイを23万枚削減できました。
- ②生産コストの削減(包装資材、作業工数減少)→144万円(前年は125万円)節約できました。



トレイを使った従来品(上)を、袋包装に切り替えてきました。

19 組合員のリサイクル活動による再資源化

組合員のリサイクル回収

循環型社会をめざす役割を担って

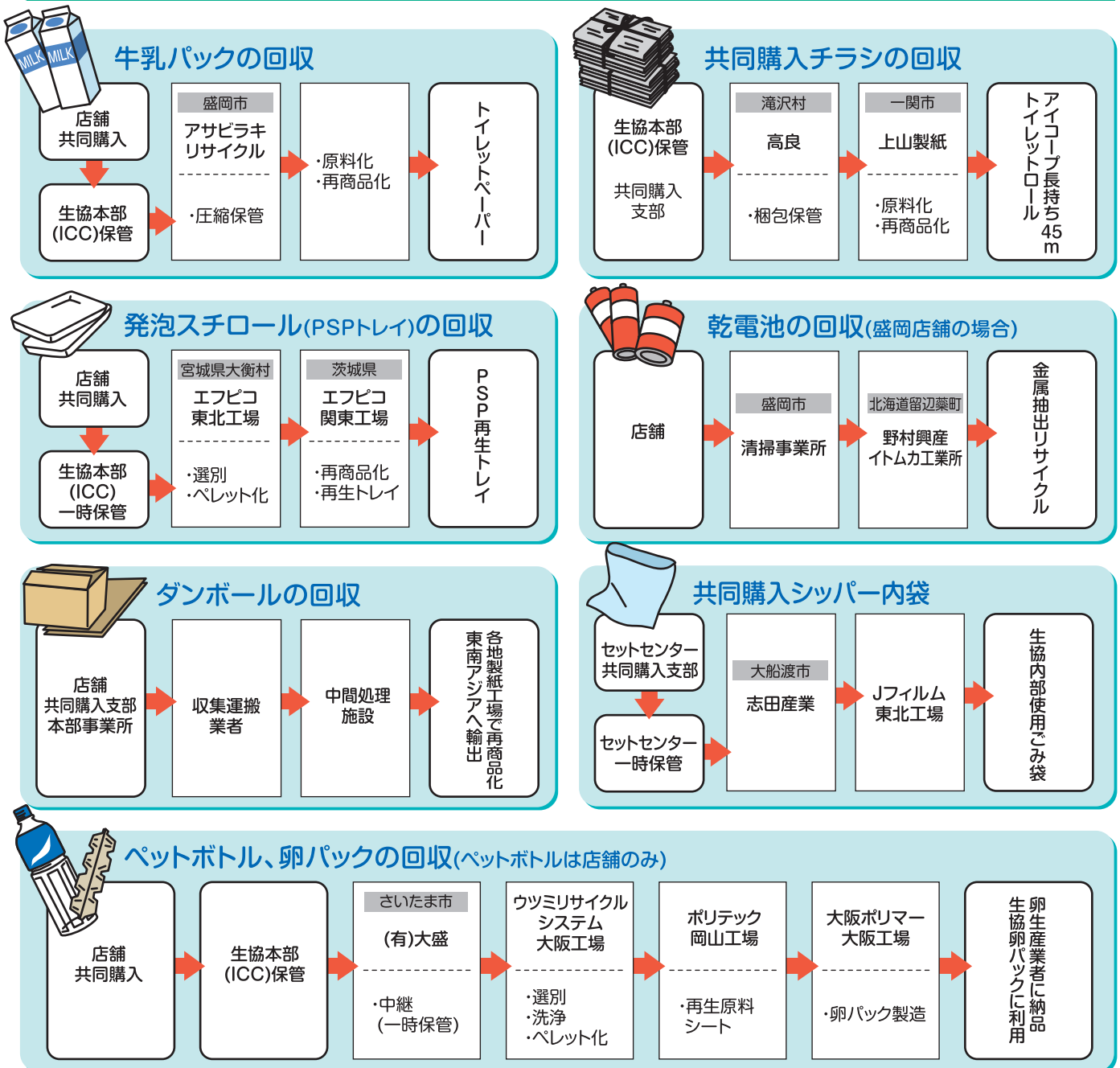
店舗・共同購入での組合員からのリサイクル回収量は引き続き増加。家庭からの廃棄物を減らし、資源を有効利用する上で大きな役割を果たしています。いわて生協の回収量は他のスーパー等に比べて圧倒的に多く、またそれぞれがきちんと再利用（再生）されており、循環型社会をめざす上で大きな役割を担っています。

組合員によるリサイクル回収量(kg)

項目	2005年度	2006年度	前年比
牛乳パック	67,004	69,344	103%
トレイ	45,995	44,475	97%
ペットボトル	75,218	78,471	104%
卵パック	16,615	18,722	113%
共同購入チラシ	990,755	1,267,593	128%
合計(kg)	1,195,587	1,478,605	124%
(トン)	(1,196トン)	(1,479トン)	

再資源化のながれ

「再製品化」を追求しています



(2007年3月現在)

20 いわて生協の環境会計

環境会計 リサイクルによるごみ削減効果は1.8億円以上

環境活動の費用や投資金額を集計し、活動の効果を金額的に表して費用対効果を評価する試みが環境会計です。いわて生協では2004年度から集計結果を公表しています。

①2006年度は、環境コストが8,775万円となりました（廃棄物処理、法定検査等のコストを含む）。対して直接効果金額は217万円になりました。2006年度は電気料金が削減できなかったため、効果金額は減少しました。レジ袋節約活動では効果金額が拡大しました。

②組合員、事業のリサイクルによる廃棄物削減（＝行政コスト削減）効果は1億8,330万円と試算され、全体としては大きな社会的価値を作り出しているといえそうです。

生協としての地球温暖化防止対策のとりくみを評価する枠組みはまだ未確立です。今後の課題といえます。

（単位＝万円）

	環境保全の分類	環境コスト	環境活動の効果	取り組みの内容と環境保全効果
費用対効果	大気汚染防止等	20		ボイラーばい煙測定費用
		337		ビル管理法による環境維持(空気・水・害虫等)の管理委託費用
	水質・土壌汚染防止	187		浄化槽からの汚水・雑排水を自主基準値内で排水するための点検・検査
		650		グリストラップの定期清掃(排水処理の負荷を軽減するためのグリストラップの高圧洗浄、清掃)
		19		灯油地下タンクの定期漏洩検査、灯油施設点検費用
	包装・プラスチックの削減		818	レジ袋節約のコスト減少(465万枚×1枚1.76円)
		573		レジ袋節約ポイント1,066万ポイント×0.5円
			144	共同購入商品のノントレイ化による資材削減および人件費増加の差額(フィッシュセンター)
		1,085		容器包装リサイクル法による再資源化委託料金(2005年度分)
	温暖化防止・省エネ		△1,412	店舗電気料金削減(△は前年より増加したことを表します)
		545		太陽光発電の設置費用
			5	太陽光発電の発電量
		650		空調効率向上のためのフィルター交換・清掃
		617		空調機の効率維持のための保守・点検費用
		131		店舗冷凍設備点検
	産業廃棄物の減量	2		廃灯油のリサイクル費用
	事業系廃棄物の処理	2,800		一般廃棄物収集・運搬の契約費用(発泡スチロールリサイクル等委託費を含む)
		348		魚アラ回収リサイクル費用
		65		家電リサイクル法による回収家電品の拠点への運搬費用(589台)
	組合員参加のリサイクルの回収・処理		662	リサイクル品で有価物として引き渡したものの(牛乳パック、紙、ペットボトル等)
		170		回収の袋代
		308		本部リサイクルセンターでの授産施設作業委託費(88トン)
		50		ペットボトル中間処理施設運搬費用
	ISO14001認証ほか	163		ISO14001更新審査・認証費用
		35		環境報告書(ダイジェスト版含む)2006年版発行費用
		20		ホームページでの環境情報の製作費用
	小計	8,775	217	
社会的貢献額			5,464	組合員のリサイクルによる家庭廃棄物削減による行政処理コスト削減額見積り ※リサイクル回収量1,479トン×36,941円(平成15年度盛岡市のトン当ごみ処理費用)として試算
			12,866	事業のリサイクルによる廃棄物削減効果3,483トン×36,941円(平成15年度盛岡市のトン当ごみ処理費用)として試算
	小計		18,330	
	合計	8,775	18,547	

21 環境活動の目的・目標の結果

ISO14001による環境目標

19項目で達成しました

ISO14001規格では、環境影響の評価に基づいて環境活動の目標と計画を決めてとりくむことが求められます。2006年度は26項目の目標を決め活動しました。

その結果、19項目で計画を達成(○)し、未達成だったものの実績数値や活動内容、環境負荷が前年より改善された項目(△)が6項目、未達成かつ前年より後退した項目(×)が1項目でした。

2006年度の主な目的・目標とその結果

	目標項目	結果
1	電気使用量を05年度比99.5%にする	△
2	一般廃棄物を05年度比95%にする	△
3	店舗の生ごみリサイクルを推進(経営企画室)	△
4	コピー回数の実績を調査し削減計画を立て実施	○
5	チラシを効果的に活用する(共済センター)	○
6	トレイから袋包装に5品目切り替え(水産部・FC)	○
7	ダンボール納品をコンテナに切り替える(農産部)	△
8	業務用・通勤車両燃料を見直す(経営企画室)	△
9	共同購入配送車両の燃費を05年度比95%(1億円当)	△
10	農産産直品の供給高を6億円にする	○
11	三陸産の水産品を05年度比103%普及	×
12	アイコープ等加工肉を05年度比1%伸長させる	○
13	県産品使用の惣菜を7,689万円に拡大する	○
14	アイコープ県産大豆豆腐のシェアを56%に	○
15	アイコープ産直米の供給を促進し498トンにする	○
16	県産のアイコープ商品を普及し05年度比103%に	○
17	ストーブのメンテナンスを225台受注する(家電C)	○
18	省エネのエアコンを100台普及する(家電C)	○
19	ノンフロン冷凍・冷蔵庫を100台普及する(家電C)	○
20	あんみつペアガラスを150人に普及する(共働社)	○
21	自動車保険のリサイクル部品特約を普及する(共働社)	○
22	組合員への環境情報発信・環境活動参加者を増やす	○
23	環境情報の発信を強化する(店舗営業企画部・家電C)	○
24	EMSを他企業へ普及する(経営企画室)	○
25	EMS審査員補の資格取得の計画を立てる(教育人事部)	○
26	職員の環境教育を推進する(物流・TC・SC)	○

2006年度の主な日常運用管理項目

	日常運用管理項目
1	レジ袋を使用しない人の比率を記録する
2	組合員のリサイクル回収品の重量を記録する
3	事業から出る廃棄物のリサイクル量を記録する
4	産業廃棄物をマニフェスト管理する
5	浄化槽の点検記録を管理する
6	燃料の使用量を記録する
7	コピー紙の仕入れ量を記録する
8	コピー紙以外の紙の使用量を記録管理する
9	資材の仕入れ量を記録する
10	牛乳びんの回収率を記録管理する
11	PCB使用器具を管理する
12	アスベストを管理する(年2回測定など)
13	アイコープ若鶏の供給点数を記録管理する
14	詰め替えタイプ商品の構成比を維持する
15	非遺伝子組み換えのしょうゆ・つゆの構成比を維持する
16	組合員など外部からの苦情・意見・要望を集約し記録する
17	グリーン購入を推進する
18	廃棄物処理など委託業者の管理をする

日常運用管理とは

環境影響を評価した結果により、日常的に監視・測定の対象とする項目や、目標を持って活動した結果相当改善が進んだ項目、法的要求事項により順守する項目を「日常運用管理項目」としています。いわて生協では、2006年度は約100項目をすべての部署で管理しています。ここでは項目の一部を例として紹介しています。

○目標達成 △未達成だが改善 ×未達成

22 環境マネジメントの状況

ISO14001:2004の第三者認証「合格＝認証継続」でした

2000年12月に環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。その後2回の更新審査を受け「合格」の判定を得て、第三者認証を継続しています。

2006年10月に2回目の更新審査を受けました。

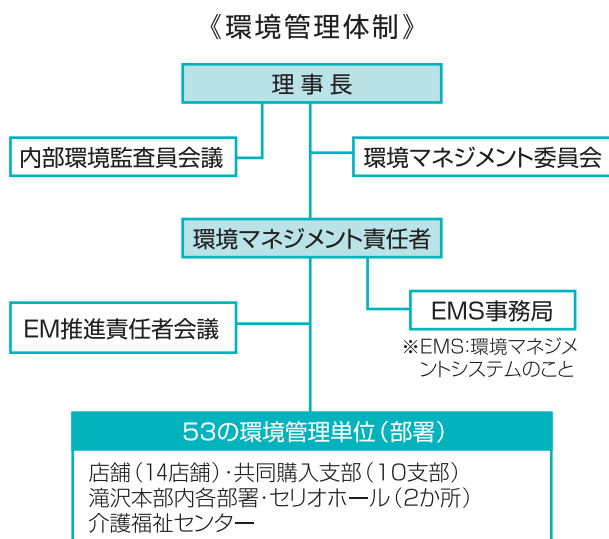
- 1) 審査機関／株式会社 日本環境認証機構 (JACO)
- 2) 実施時期／2006年10月 (3日間)
- 3) 審査員／主任審査員 加藤恵治 幹事審査員 西尾喜郎
審査員 武田敏夫
- 4) 審査結果／「合格」認証更新 (2009年12月20日まで)



トップインタビューを受ける池田理事長。

環境マネジメント活動

いわて生協の全53事業所・部署が環境管理活動の対象です。保存建物・庭園「南昌荘」は除きます。



1) 環境マネジメント委員会 (委員長 池田和昌理事長)

理事長以下常勤理事、部長25人で構成し、環境活動全般を審議します。2006年度は4回開催されました。

2) 環境マネジメント推進責任者会議

(杉村洋一環境マネジメント責任者)

各部の環境活動推進責任者25人で構成し、環境管理計画の起案、日常の活動推進、月度の進捗状況を審議します。2006年度は14回開催されました。

3) 内部環境監査 (主任監査員 大守哲夫常勤理事)

- ①実施期間 2007年1月31日～3月2日
- ②内部環境監査員 26人
- ③監査対象 53の全事業所・部署およびシステム全体
- ④監査の所見 52件 (重大な不適合1件、軽微な不適合11件、観察40件)
- ⑤監査所見メモ 推奨事例等84件が出されました。

■事故緊急事態の発生

2006年度は、灯油の漏洩など事故緊急事態の発生はありませんでした。

■環境に関する苦情等

2006年度は、騒音についての苦情が4件ありました。早朝のごみ回収と商品搬入、共同購入配達時の音楽、エンジン音についての苦情があり、時間の変更や作業の変更を行いました。

■法規制と順法状況

環境関連の法規制について、「環境法規制等登録表」に47本の法律、省令、条令、規則等を登録し順守状況を確認しています。内部環境監査で産業廃棄物排出管理票 (マニフェスト) の記入の不備が指摘され、是正しています。

アスベスト対策は、コープ緑が丘では除去実施済み、コープ山王では封じ込め工事実施済みです。コープまつぞのでは関係機関と協議の上、機械室で改築工事までの間空気測定を定期実施することになっています。

23 いわて生協の環境活動のあゆみ

year.1989

- ◆日配センター稼動（店舗への一括納品）
- ◆アルミ缶回収店舗拡大（山岸、天昌寺、中堤）
※回収したアルミ缶は「しいのみ学園」に提供
- ◆自販機42台を20台に削減（複数メーカー商品）

year.1990

- ◆牛乳パック回収スタート（再生トイレットペーパー原料に）
- ◆レジ袋節約スタンプ制スタート
- ◆乾電池回収全店スタート（盛岡地域は84年スタート）
- ◆いわて生協の環境シンボルマーク決定（公募）
- ◆印刷用紙、コピー用紙、名刺等の再生紙への切り替えを開始

year.1991

- ◆本部構内の廃紙、使用済み共同購入注文用紙の回収開始
- ◆布製買い物バッグの普及（第一次8,500枚）
- ◆発泡スチロールトレイの回収スタート
- ◆クリーニングハンガー回収スタンプ制導入
- ◆宮古地区店舗でアルミ缶店頭回収スタート
※障がい者通所施設の開設支援のためであり、94年に完成につきアルミ缶回収の活動停止

year.1992

- ◆コープ青山でアルミ缶回収スタート
- ◆コンポスト購入奨励金制度スタート（盛岡市）
- ◆朝配達牛乳のびん容器化実験開始

year.1993

- ◆レシート用紙を再生紙に切り替え
- ◆包装フィルムの非塩ビラップへの切り替え実験着手
- ◆クリーニングハンガー有料回収スタート
- ◆720mlびん牛乳の朝配達を全県でスタート（びん牛乳普及で牛乳パック回収量減少）
- ◆レジ袋を透明化（行政のごみ袋透明化に対応）

year.1994

- ◆オリジナルのギフト簡易包装紙開発（サービス部門）
- ◆FC、MC、店舗の包装フィルムを非塩ビラップへ切り替え
- ◆店頭の飲料自販機の台数削減

year.1995

- ◆ペットボトルの店頭回収スタート
- ◆共同購入配達トラックにLPG車導入
※2000年でLPG車50台となり、半数超える

year.1996

- ◆共同購入盛岡3支部で使用済みチラシ回収、未使用注文用紙回収
- ◆「容器包装リサイクル法」施行 対応準備

year.1997

- ◆共同購入全支部で使用済みチラシの回収スタート
- ◆「グリーン購入ネットワーク」に加入
- ◆リサイクル、エネルギー、廃棄物の量的集計開始
- ◆店舗、FC、MCで廃棄物削減取り組みの具体化
- ◆使用トレイ規格の見直し、廃棄トレイの削減
- ◆リサイクルトレイへの切り替え（トレイからトレイへのリサイクルシステムへ変更）
- ◆盛岡市「ゴミ減量、リサイクル協力店」市内11店舗認定

year.1998

- ◆エコバッグ（オリジナル買い物袋）の開発、供給
- ◆ペットボトルの回収システム、ルールの変更（卵パックに再生）
- ◆回収した卵パックを卵パックにするシステムに切り替え
- ◆共同購入回収チラシを原料にしたアイコープトイレットペーパーの開発（県内製紙工場、漂白に塩素不使用）
- ◆サンネット統一物流のノー伝票納品スタート（EOS伝票30%削減、事務効率アップ）
- ◆店舗新ユニフォームのマテリアル・リサイクルシステム開発
- ◆ベルフ青山にリサイクル買い物カゴ導入

year.1999

- ◆200ml低温殺菌びん牛乳新発売
- ◆伝票用紙の再生紙への切り替え着手
- ◆レジ袋有料化の検討→節約の実態づくりを先行させる方針に
- ◆常勤者環境講座の開催(全13回)、ISO14001認証取得プロジェクト設置
- ◆新開発アイコープ「だしたっぷりつゆ」容器に「エコボトル」採用(ワインボトルのカレットを原料に)
- ◆滝沢本部構内でリサイクルの分別、減容作業を県社会福祉事業団に委託(ペットボトル、卵パックの選別・減容・梱包)

year.2000

- ◆8月、ISO14001環境マネジメントシステム運用スタート
- ◆12月21日、県内小売業で初めてISO14001認証取得、登録

year.2001

- ◆10月のいわて大環境祭(アピオ)に参加・出展し、いわて生協の環境活動をアピール
- ◆遺伝子組み換え原料、飼料の排除のとりくみが進む
- ◆コープ花北オリザ(北上市)の生ごみが11月に北上市のコンポストプラントに参加、リサイクルへ
- ◆排出物の実測把握と削減のとりくみが前進
- ◆印刷物の仕様を見直し、大豆インクへの切り替えを実施

year.2002

- ◆グリーン購入の規程、ガイドラインを決め、とりくみの強化をはかる
- ◆組合員カードの導入により、レジ袋節約がポイント制に移行
- ◆共同購入シッパー内袋を生協事業所で使用するごみ袋としてリサイクル化
- ◆水沢市にコープアテルイがオープン。デシカント空調導入やハートビル法適合、備品のグリーン購入などの対応がすすむ
- ◆リサイクルの増大、廃棄物削減などの環境のとりくみが多面的に推進される

year.2003

- ◆レジ袋節約率が30%を突破
- ◆4月からコープアテルイ(水沢市)の生ごみが堆肥化リサイクルに移行
- ◆共同購入でコース再編、週5日配達実施で車両を20台削減
- ◆ISO14001更新審査を受け、認証を継続
- ◆環境会計の作成を開始し、環境報告書で公表

year.2004

- ◆ボラン農業小学校の活動が全国的に注目される
「いわておもしろ地産地消大賞」受賞(2月)
「いわてグラフ」「地上」等に掲載される
- ◆組合員のエコエコダイエツ、キャンドルナイトの活動広がる
- ◆岩手県のエコショップ認定事業への申請
- ◆レジ袋の節約率33%に。年度末目標達成
- ◆各種印刷物・帳票類の再生紙への切り換えが終了し、環境方針から「古紙混合率引き上げ」削除

year.2005

- ◆レジ袋節約率35.5%に。中期の目標を達成
- ◆「森林(もり)を守る募金」(2004年度分)県内4団体に40万円を寄贈
- ◆「森林(もり)を守る募金」(2005年度分)県内3団体に30万円を寄贈
- ◆共同購入トラックでバイオディーゼル燃料走行実験
- ◆14店舗が県内最初の「エコショップ認定」を受ける(その後全15店舗が認定)
- ◆太陽光発電、エスコ事業などの温暖化対策の検討
- ◆環境配慮を集中した「ベルフ山岸」オープン

year.2006

- ◆レジ袋節約率37.6%に。年間で465万枚を節約
- ◆共同購入トラック6台がバイオディーゼル燃料で走行
- ◆新設のセリオホールみたけに太陽光発電を導入
- ◆エスコ事業を2店舗で導入し温暖化対策実施
- ◆「森林(もり)を守る募金」(2006年度分)県内5団体に50万円を寄贈

事業所一覧

本部・生鮮加工センター(滝沢村土沢220-3)

本部／総務部・経営企画室・開発施設部・組織本部
TEL.019-687-1321 FAX.019-687-1491

事業本部／商品部・店舗事業部・供給事業支援部
TEL.019-687-1441

経理部 TEL.019-687-1341

灯油課 TEL.019-687-1121

共済センター ☎ 0120-168160

コープサービス(住まいのサービス) ☎ 0120-666356

コープ保険センター ☎ 0120-239739

その他

コープ子どもと教育110番 盛岡市北天昌寺町1-60
TEL.019-643-9288

コープくらしの助け合いの会 滝沢村土沢220-3
盛岡地区 TEL.019-699-1777
盛岡以外 ☎ 0120-537940

コープトラベルいわて 盛岡市仙北3丁目8-40
(Belf仙北2階) TEL.019-631-2671

共同購入

盛岡東支部・盛岡西支部・盛南支部 滝沢村土沢220-3
☎ 0120-042306

宮古支部 宮古市田鎖第8地割字十文字12-1
☎ 0120-693312

花北支部 花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1
☎ 0120-405531

県南支部 奥州市前沢区字五合田63-8
☎ 0120-803620

釜石支部 釜石市甲子町第8地割119
☎ 0120-272201

けせん支部 大船渡市盛町字二本杵16-11
☎ 0120-263957

にのへ支部 一戸町一戸字越田橋25-1
☎ 0120-255582

久慈支部 久慈市長内町36-6-5
☎ 0120-341588

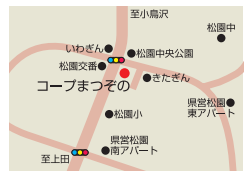
コープ高松

盛岡 あさ7時～よる12時
P 40台
盛岡市上田4丁目21-5
TEL.019-624-2218
FAX.019-624-2226



コープまつぞの

盛岡 あさ9時～よる11時
P 60台
盛岡市松園3丁目18-20
TEL.019-662-5152
FAX.019-662-8018



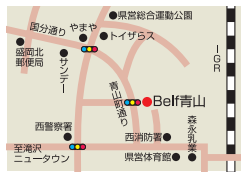
コープ緑が丘

盛岡 あさ9時～よる12時
P 70台
盛岡市緑が丘3丁目1-10
TEL.019-661-5725
FAX.019-661-5726



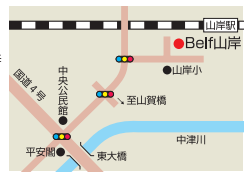
Belf 青山

盛岡 あさ9時～よる11時
P 200台 灯油取扱
盛岡市青山4丁目17-2
TEL.019-647-8181
FAX.019-647-8184



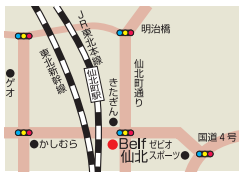
Belf 山岸

盛岡 あさ9時～よる11時
P 140台 灯油取扱
盛岡市山岸2丁目16-8
TEL.019-654-2184
FAX.019-654-4092



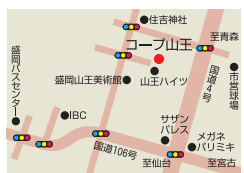
Belf 仙北

盛岡 あさ9時～よる11時
P 180台 灯油取扱
盛岡市仙北3丁目8-40
TEL.019-635-0135
FAX.019-635-0158



コープ山王

盛岡 あさ9時～よる11時
P 50台 灯油取扱
盛岡市山王町10-6
TEL.019-654-3370
FAX.019-654-3371



コープ花北ORYZA

北上 あさ10時～よる10時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 330台
北上市村崎野14地割68-32
TEL.0197-71-3666
FAX.0197-71-3668



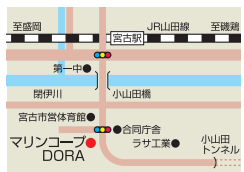
コープ西町

宮古 あさ10時～よる10時
P 70台
宮古市田の神2丁目2-25
TEL.0193-62-0203
FAX.0193-63-4050



マリノコープDORA

宮古 あさ10時～よる9時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 600台
宮古市小山田2丁目2-1
TEL.0193-63-3131
FAX.0193-63-3366



コープAterui

水沢 あさ10時～よる10時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 1400台
奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123
TEL.0197-51-0088
FAX.0197-51-0070



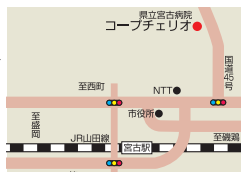
コープ西ヶ丘

宮古 あさ10時～よる10時
P 40台
宮古市西ヶ丘1丁目6-1
TEL.0193-64-1158
FAX.0193-64-1199



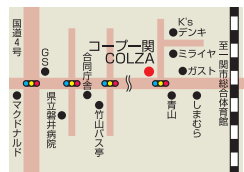
コープチェリオ

宮古 あさ8時～よる7時30分
P 140台
宮古市崎銀ヶ崎1-11-26
TEL.0193-64-4121
FAX.0193-64-6022



コープ関COLZA

一関 あさ9時～よる11時
P 380台
一関市石畑3-1
TEL.0191-26-3331
FAX.0191-26-3380



コープ介護・福祉センター“あい”

盛岡 あさ9時～よる18時
P 145台
盛岡市北天昌寺町1-60
☎ 0120-179131 (盛岡のみ)
TEL.019-643-9131
FAX.019-643-9138



セリオホール中野

盛岡 年中無休
P 60台
盛岡市中野2丁目3-25
☎ 0120-059212
FAX.019-654-1900



セリオホールみたけ

盛岡 年中無休
P 30台
盛岡市みたけ3丁目7-35
☎ 0120-529711
FAX.019-647-8990



盛岡市保健医療 盛岡市保存建造物 南昌荘

盛岡 10時～17時・月休
(12月～3月は16時閉館)
P 10台
盛岡市清水町13-46
TEL&FAX 019-604-6633



社会活動・環境活動報告書2007年度版

発行／2007年6月 いわて生活協同組合

お問い合わせ先／経営企画室(TEL 019-687-1321)



JAB
EMS Accreditation
RE009



EC 00J0165



051

いわて生協の環境マネジメントシステムは2000年12月21日にISO14001の認証を全事業所で取得しました。